取組項目	環濠都市堺の再生の推進
現状・課題	 【現状】 ○令和2年2月に発表した「堺グランドデザイン2040(GD2040)」において、環濠エリアのめざすべき方向性として「水辺や歴史文化を生かした堺ならではの魅力の創出」を掲げている。 ○環濠エリア北部地区において、歴史文化資源を活かした歴史的なまちなみ再生に向け、地元住民による「堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会」と連携し、町家等の修景を推進している。 ○地元活動団体等で構成する「堺環濠町づくり推進協議会(通称:環濠茶論)」において、市と連携しながら情報や魅力発信等の事業を進めているほか、NPOによる「観濠クルーズ」等が実施されている。 【課題】 ○環濠エリア内の歴史文化資源や伝統産業等を活用した都市魅力の向上、情報発信や賑わいの創出、さらには市民の愛着やシビックプライドの醸成に取り組んでいく必要がある。 ○環濠エリア北部地区において、地元住民の間でまちなみ保存の関心が高まっており、地区に相応しい景観の形成に取り組んでいく必要がある。 ○民間事業者との連携やイベントの開催などについては、新型コロナウィルス感染症による影響等、今後の情勢の推移も踏まえながら、スケジュールを調整していく必要がある。
取組みの内容	 ■環濠ビジョン作成 <臨海整備課> 環濠エリアの魅力向上や GD2040 (環濠エリア)の実現に向けたビジョンを 策定し、下記事業や関連事業等と連携し、環濠エリアの魅力向上をめざす。 ○環濠水辺における賑わいの誘導 <臨海整備課> 内川河川敷において、環濠を活かした水辺づくりなど、官民連携による水辺の賑わい誘導に向けた取組を進める。 ○環濠エリア北部地区のまちなみ再生や景観形成 <都市景観室> 地元と連携し、当地区における歴史文化を活かしたまちなみの再生や景観の形成 ・町なみ再生協議会の活動支援、修景補助事業の促進 ・町家利活用に向けた方策の検討、実施 ・住民主体のまちづくりに向け、地元の合意形成を図りながら景観形成 ○情報発信・魅力発信 <環濠町づくり協議会事業> 市民への認知度向上を意識しながら環濠エリアの魅力発信に取り組むとともに、地元企業や店舗なども含めたエリア全体への機運を波及 ・協議会のSNS、HP等の管理運営、環濠まち歩き等の開催 ・水辺を活用したアクティビティの実施に向けた検討

		様	式4
スケジュール	前期 (~7月)	□ 協議会(環濠茶論)総会の開催	
	中期 (~11月)	口 水辺の賑わい誘導に向けた取組みの推進	
	後期 (~3月)	□ 環濠ビジョン(案)の作成(3月) □ 協議会(環濠茶論)総会の開催(3月)	
	次年度 以降	□ 環濠ビジョン パブコメ・策定・公表 □ 水辺の賑わい誘導に向けた取組の推進 □ 北部地区のまちなみ再生や景観形成の推進	